

令和5年産

大崎稲作情報 第3号

令和5年6月12日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL : 0229-91-0726 FAX : 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

中干し前までは、浅水管理や間たん灌水を行いましょう。中干しは有効茎数に達したら行いましょう。

※生育の遅れているほ場では浅水管理を励行しましょう。

補植用苗は速やかに処分し、いもち病の発生を抑えましょう。いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。

1. 気象経過

- 5月第5半旬から6月第1半旬にかけては、過去5か年と比較して、気温は低く、日照時間もかなり少なくなりました。6月第2半旬には、気温、日照時間も回復し、過去5か年を上回りました。

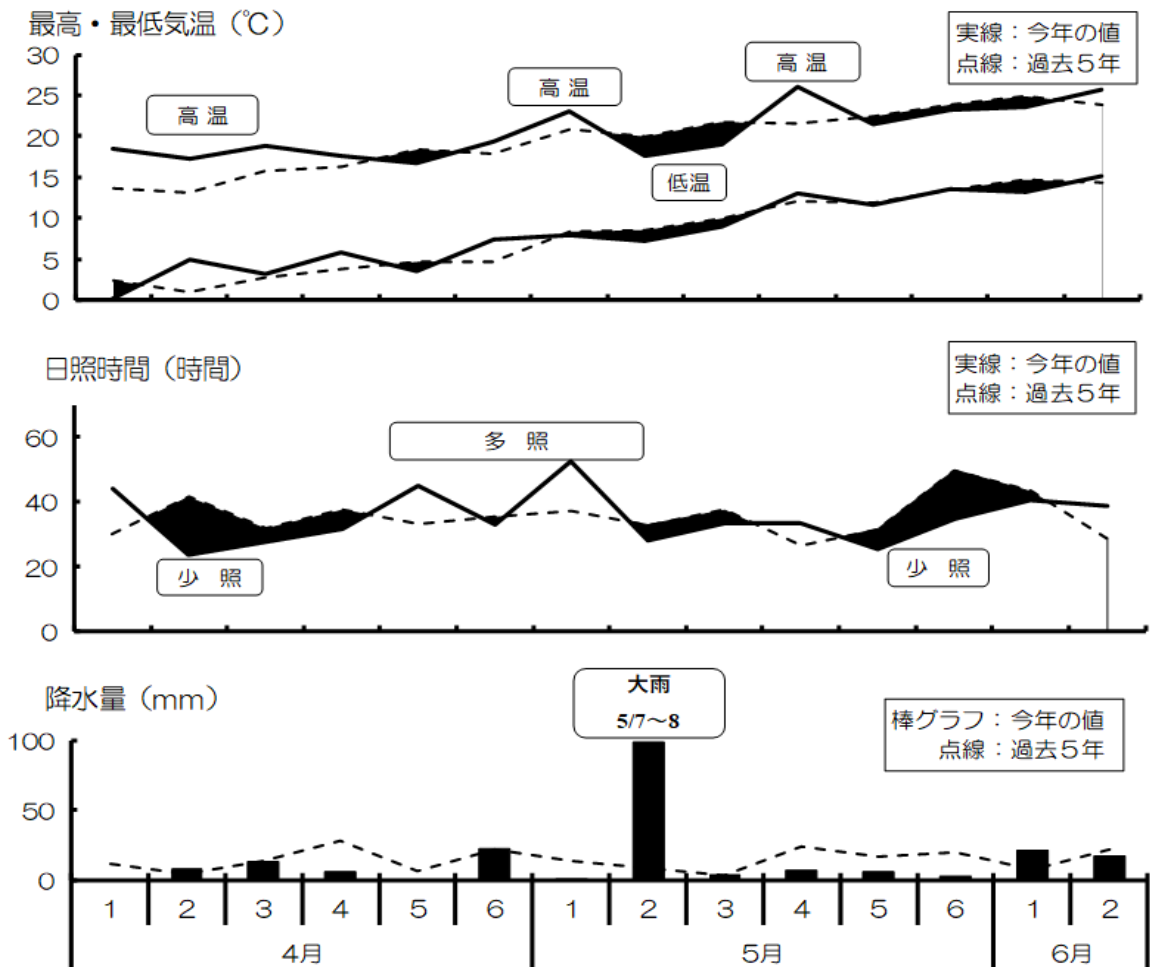


図1 4月～6月第2半旬の気象グラフ(古川アメダス)※過去5か年平均値との比較

2. 生育概況（6月9日現在）

- 5月下旬から6月第1半旬にかけての低温・少照の影響で、生育は停滞しています。草丈、茎数、葉数とも平年を下回るほ場が多くなっています。葉色は平年よりも濃くなっています。

表1 生育調査結果

品種名	地区名	田植・播種月日	草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m ²) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	備考
ひとめぼれ	大崎市三本木	5月5日 (+1)	26.4 (90%)	271 (87%)	7.4 (0.0)	46.0 (+3.4)	
ひとめぼれ	加美町小野田	5月17日 (+1)	25.3 (87%)	145 (72%)	6.9 (+0.5)	37.3 (-0.9)	
ササニシキ	大崎市古川	5月5日 (-4)	24.9 (85%)	172 (93%)	6.4 (-0.5)	39.3 (+3.1)	
つや姫	色麻町四籠	5月4日 (0)	26.5 (90%)	234 (78%)	7.1 (-0.4)	43.1 (+0.8)	前年比・差
だて正夢	大崎市三本木	5月12日 (-3)	32.7 (108%)	199 (213%)	6.7 (+1.1)	41.8 (+9.8)	
金のいぶき	大崎市三本木	5月11日 (-3)	29.8 (114%)	200 (125%)	7.0 (+1.1)	36.8 (+3.6)	前年比・差
ゆみあすさ	加美町平柳	5月21日 (-)	24.4 (-)	98 (-)	5.1 (-)	27.2 (-)	新規
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	5月23日 (0)	17.5 (85%)	74 (99%)	4.9 (+0.3)	26.7 (-4.1)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	5月17日 (0)	21.2 (73%)	113 (50%)	5.7 (-0.9)	33.2 (-3.0)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	5月3日 (-2)	16.0 (91%)	126 (84%)	3.2 (-1.5)	- (-)	
平均 (平年値のあるほ場のみ)		5月11日 (-1)	26.1 (89%)	180 (103%)	6.6 (0.0)	39.5 (+2.5)	

※田植日の+は遅いことを、-は早いことを示す。

※平年比・差は前5か年（平成30年～令和4年）の平均値との比較
平年値のないほ場は前年比・差での比較

3. 今後の管理

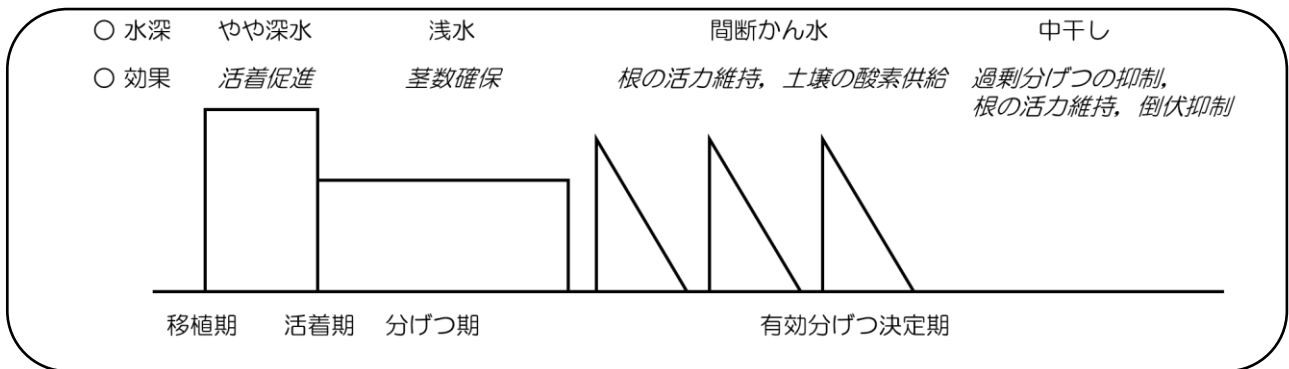
1) 水管理 浅水管理・間断かん水の実施

水管理は稲の生育を調整し、その後の収量・品質に影響する重要な管理です。天候や生育状況に応じて、適切な水管理を行いましょよう。

- ✓ 生育回復の遅れているほ場では浅水管理により、分けつの発生を促しましょう。
- ✓ 根の活力維持のため、間断かん水と中干しを行いましょよう。中干しは目標茎数に達したら実施しますが、今年度は茎数の増加が緩慢なので、生育状況をよく確認の上実施しましょよう。

目標茎数の目安

ひとめぼれ 410本～460本/m²
ササニシキ 480本～510本/m²
だて正夢 350本～400本/m²



2) いもち病防除 補植用苗は速やかに処分

- ✓ 補植用苗（残苗）は本田でのいもち病発生の原因になります。補植作業が終了したら速やかに処分しましょう。
- ✓ 残苗でいもち病を確認した場合、周辺の稲で発生していないか確認しましょう。
- ✓ 飼料用米や直播栽培などで箱施用剤を施用していない場合は、水面施用剤を散布しましょう。

◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中（3月1日～6月30日）◆◆◆◆◆

農業機械作業による死亡事故割合が高い状況を踏まえ、①ほ場周辺の危険箇所の確認・改善及び危険回避行動の実践、②シートベルトとヘルメットの着用、③トラクターへの安全フレーム・安全キャブの使用の呼びかけを行います。

重点推進テーマ 「徹底しよう！農業機械の転落・防止対策」

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「守ろう 農薬ラベル、確かめよう 周囲の状況」

東北地方 1 か月予報

(6月10日から7月19日までの天候見通し)

令和5年6月8日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、高い確率70%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	20	70
【降水量】	東北地方	30	40	30
【日照時間】	東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	10	40
2週目	東北地方	10	20	70
3~4週目	東北地方	30	30	40

水稻乾田直播情報

乾田直播栽培(グレンドリル)の生育調査をしました。苗立本数は目標の150本/m²を超える198本/m²で、推定苗立率は90%以上でした。6月8日の調査結果は草丈が10.5cm、茎数が221本/m²、葉数3.2枚で概ね順調に生育しています。既に入水を行い、浅水状態となっています。ヒエの発生が目立ってきていますが、除草剤の処理を行い、対応する予定です。



4/6の播種の様子



6/8の生育状況